

世 界 史

注 意

1. 問題は全部で13ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
5. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

マーク・シート記入上の注意

1. 解答用紙(その1)はマーク・シートになっている。HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答が1のとき)

1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7	<input type="radio"/> 8	<input type="radio"/> 9	<input type="radio"/> 0
---	----------------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり、折り曲げたりしないこと。

問 9 北宋の首都について述べたものとしてもっとも適切な選択肢を一つ選び、その番号をマークしなさい。 **9**

- ① 遼と対峙するため、最前線の杭州に置かれた。
- ② 金と対峙するため最前線の開封に置かれた。
- ③ 五代の後周のあとを継ぎ、杭州に置かれた。
- ④ 五代の後周のあとを継ぎ、開封に置かれた。

問10 宋の文化の記述として正しくない選択肢を一つ選び、その番号をマークしなさい。 **10**

- ① 青磁が盛んに作られた。
- ② 羅針盤が発明された。
- ③ 木版印刷が盛んに行われた。
- ④ 製紙技術がタラス河畔の戦いを通じてイスラーム圏に伝えられた。

問11 突厥大帝国は6世紀後半、東西に分裂した。この突厥における主要な民族として最も適切な選択肢を一つ選び、その番号をマークしなさい。 **11**

- ① トルコ系 ② 満州系 ③ モンゴル系 ④ 朝鮮系

問12 中国史上、「武韋の禍」と称される政治的事件における中心人物としてもっとも適切な選択肢を一つ選び、その番号をマークしなさい。 **12**

- ① 王莽 ② 則天武后(武則天)
- ③ 欽宗(北宋末) ④ 西太后(慈禧太后)

問13 前漢は前202年(ア) **13** が建て、隋は581年(イ) **14** が建国したが、618年、唐の高祖(ウ) **15** はこの隋を倒した。ア～ウに入る人名としてもっとも適切な選択肢を一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 始皇帝 ② 孝文帝 ③ 完顔阿骨打 ④ 楊堅
- ⑤ 大祚榮 ⑥ 李淵 ⑦ 趙匡胤 ⑧ 劉邦

〔Ⅱ〕 以下の設問に答えなさい。解答用紙は(その1)を使用すること。

問 1 アッシリアの言語および文字について述べた文として、もっとも適切な選択肢を一つ選び、その番号をマークしなさい。 16

- ① ニネヴェの王宮の文書館跡から、大量の粘土板文書が出土した。
- ② パピルス文書作成のためにヒエラティック(神官文字)が考案された。
- ③ 文字記録が残っていないため、暗黒時代と呼ばれている。
- ④ アッシリア人は、自分たちにわからない言葉を話す人々を「バルバロイ」と呼んだ。

問 2 プラトンは、師^(a)ソクラテスの死を一つの契機として、国家は哲学者によって統治されるべきとする「哲人政治」を唱えたことで知られる。彼が^(b)アテネ郊外に開いた学園アカデメイアは、その後長らくギリシア世界の学問の中心地となった。「万学の祖」とも称される哲学者^(c)アリストテレスもまた、このアカデメイアで^(d)プラトンに学んだことが知られている。 17

- ①～④はそれぞれ(a)～(d)の説明である。説明としてもっとも適切な選択肢を一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。
- ① ソクラテスの代表作として知られるのが『国家』である。
 - ② アテネの国制は「リュクルゴス制」と呼ばれている。
 - ③ 東方遠征で知られるアレクサンドロスは、アリストテレスから教育を受けた。
 - ④ プラトンと同世代の政治家として、改革で知られるソロンが挙げられる。

問 3 アショーカ王は領域拡張政策を推し進め、マウリヤ朝の最大領土を実現した。他方、ダルマによる統治を理想とし、また仏教にも帰依し、これを厚く保護した。同王の王子マヒンダを通じて仏教の布教が行われたとされる地域として、もっとも適切な選択肢を一つ選び、その番号をマークしなさい。

18

- ① ビルマ
- ② スマトラ島
- ③ セイロン島
- ④ チベット高原

問 4 その著作がラテン散文の範ともされるキケロは、政治家としても活躍した。グラックス兄弟の改革の失敗に続く混乱の時代、いわゆる「内乱の1世紀」において共和制擁護の立場をとった彼と同時期に活動した政治家として、もっとも適切な選択肢を一つ選び、その番号をマークしなさい。 19

- ① アントニウス
- ② トラヤヌス
- ③ スキピオ
- ④ ネロ

問 5 カエサルは、軍人、政治家としてのみならず、優れた作家としても知られている。彼が残した著作のうちには、とある彼の遠征の記録も含まれている。この著作で扱われている遠征先としてもっとも適切な選択肢を一つ選び、その番号をマークしなさい。 20

- ① カルタゴ
- ② ガリア
- ③ シチリア
- ④ マケドニア

問 6 グプタ朝は第3代君主チャンドラグプタ2世の治世に最盛期を迎えたとされるが、同王は宮廷詩人としてカーリダーサをかかえるなど、この時期は文芸もまた発達した。グプタ朝期の文芸作品としてもっとも適切な選択肢を一つ選び、その番号をマークしなさい。 **21**

- ① 『リグ・ヴェーダ』
- ② 『シャクンタラー』
- ③ 『エリュトゥラー海案内記』
- ④ 『アヴェスター』

問 7 ヴァルダナ朝を創始したハルシャ王は北インド一帯に勢力を広げる政治的成功を見せる一方、諸宗教や学芸を保護し、さらには自ら文学作品を残したことで知られている。ハルシャ王の治世に起こった出来事として、もっとも適切な選択肢を一つ選び、その番号をマークしなさい。 **22**

- ① 玄奘がナーランダ僧院で仏教を学んだ。
- ② ガンダーラ仏教美術が最盛期を見せた。
- ③ 法顕が経典を求めインドを訪れた。
- ④ ヴァルダマーナがジャイナ教を広めた。

問 8 9世紀初めにアッバース朝のカリフ・マームーンがバグダードに建設した「知恵の館」を中心にギリシア語文献が組織的にアラビア語に翻訳されるなど、ムスリムたちは「外来の学問」を吸収しつつ学問を発展させていった。こうした「外来の学問」に関連する語句として、もっとも適切な選択肢を一つ選び、その番号をマークしなさい。 **23**

- ① ワクフ
- ② ゼロの概念
- ③ スーフィズム
- ④ ハディース

問 9 とあるビザンツ皇帝は、敵対するイスラーム勢力への対抗の意味も込めて726年ないし730年に、聖画像破壊令と呼ばれる法令を發布したとされる。この法令はローマ教皇、さらにはフランク王国の宮廷をも巻き込む論争を引き起こすこととなった。この皇帝の名としてもっとも適切な選択肢を一つ選び、その番号をマークしなさい。 24

- | | |
|------------|-----------|
| ① グレゴリウス1世 | ② レオン3世 |
| ③ クローヴィス | ④ ヘラクレイオス |

問10 8世紀後半から9世紀にかけてフランク王国に見られた、古典文化の復興をも含む文化的興隆には、国王や宮廷の人々も深く関与していた。カロリング・ルネサンスと呼ばれるこの文化的興隆に関わる人物として、もっとも適切な選択肢を一つ選び、その番号をマークしなさい。 25

- | | |
|----------|------------|
| ① アンセルムス | ② アルクイン |
| ③ エラスムス | ④ トマス・アキナス |

問11 中世の間に東ヨーロッパの諸民族がキリスト教を受容していくが、これはしばしば君主が洗礼を受け改宗することを主要な契機としていた。当時、キリスト教の受容、さらにローマ＝カトリックとギリシア正教のどちらを受容するかという選択は、政治的・文化的な意味をも持っていたのである。ビザンツ教会の影響下にキリスト教を受容した国家としてもっとも適切な選択肢を一つ選び、その番号をマークしなさい。 26

- | | |
|---------|---------|
| ① ハンガリー | ② クロアチア |
| ③ ポーランド | ④ ブルガリア |

問12 12世紀のヨーロッパにおけるローマ法の復興は、単なる学問的な現象ではなく、現実の国家統治にも影響を与えた。ローマ法に基づく皇帝理念を掲げ、1158年にはローマ法研究の中心ボローニャ大学に自治権を認める特許状を与えた皇帝として、もっとも適切な選択肢を一つ選び、その番号をマークしなさい。 [27]

- ① フリードリヒ1世
- ② オットー1世
- ③ インノケンティウス3世
- ④ フィリップ4世

問13 12世紀のコルドバに生まれ、^(a)ムワッヒド朝治下で法官や宮廷医を務めたイブン・ルシュドの著作は、^(b)ラテン語翻訳を通じてヨーロッパの^(c)スコラ学にも大きな影響を与えた。^(d)

①～④はそれぞれ(a)～(d)の説明である。説明としてもっとも適切な選択肢を一つ選び、その番号をマークしなさい。 [28]

- ① コルドバ陥落によりレコンキスタが完了した。
- ② ムワッヒド朝はムラービト朝に滅ぼされた。
- ③ イブン・ルシュドはアリストテレスの著作への注釈で知られている。
- ④ スコラ学を代表する学者としてマキアヴェリが挙げられる。

問14 神聖ローマ帝国皇帝フリードリヒ2世がパレルモの王宮に抱えた廷臣にはラテン人に加えてアラブ人、ギリシア人が含まれ、彼の治世は、整備された先進的な行政組織のみならず、多文化的色彩によっても際立っていた。フリードリヒの事績について述べた文として、もっとも適切な選択肢を一つ選び、その番号をマークしなさい。 [29]

- ① 第7回十字軍を率い、北アフリカのチュニスを攻撃した。
- ② イスラム勢力との外交交渉によりエルサレムを獲得した。
- ③ ヴェネツィアの援助を得てコンスタンティノープルを占領し、ラテン帝国を建てた。
- ④ クレルモン教会会議において聖地への十字軍遠征を提唱した。

問15 13世紀のヨーロッパにおいて托鉢修道士たちは、説教や異端審問などキリスト教信仰に関わる活動の他、外交に関わる者もいれば、大学等で学問に従事する者もいた。こうした托鉢修道士に該当する人物としてもっとも適切な選択肢を一つ選び、その番号をマークしなさい。 30

- ① ロジャー・ベーコン
- ② アベラルドゥス(アベラール)
- ③ アウグスティヌス
- ④ グレゴリウス7世

問16 金印勅書を発布し7名の選帝侯を定めたカール4世は、プラハ大学を創設したことで知られる。プラハはある王国の首都であり、この王国の王は選帝侯に含まれた。この王国の名称としてもっとも適切な選択肢を一つ選び、その番号をマークしなさい。 31

- ① プロイセン王国
- ② ベーメン王国
- ③ ハンガリー王国
- ④ セルビア王国

問17 ティムール朝の君主たちには学芸を好む者が多く、宮廷を中心に学問や芸術が栄えたと言われている。ティムール朝での学芸について述べた文として、もっとも適切な選択肢を一つ選び、その番号をマークしなさい。 32

- ① ウルドゥー語のような地方語の文学作品も生み出された。
- ② 首都アンカラでは、トルコ=イスラーム文化とイラン=イスラーム文化の融合が見られた。
- ③ 君主ウルグ・ベクは首都に天文台を建設した。
- ④ ウマル・ハイヤームが『ルバイヤート』を著した。

〔Ⅲ〕 以下の文章を読み、設問に答えなさい。解答用紙(その2)を使用すること。

18世紀にはいと、ヨーロッパの諸事件と南北アメリカ大陸の諸事件は急速に連動を深めていく。

1701年、ヨーロッパでスペイン継承戦争が勃発すると、ヨーロッパでの動きと連動して北アメリカではイギリスとフランスが植民地の拡大を目指して戦った。オーストリア継承戦争も北アメリカに飛び火するが、スペイン領アメリカ植民地をも巻き込んだより大規模な戦争に発展したのは、1756年にヨーロッパで始まった七年戦争であった。大西洋の両岸でイギリスはフランス、スペインとの戦いを有利に進め、1763年のパリ条約ではフランスからルイジアナ東部、スペインから(②)を割譲させ、北米植民地の拡大に成功した。

しかし、戦争の長期化と大規模化はイギリス政府の財政をひっ迫させ、イギリス政府は新たな財源として13植民地への課税を強化する。印紙法や茶法がその典型であるが、植民地に暮らすイギリス人たちは「代表なくして課税なし」というスローガンを掲げ、反対運動を繰り広げた。その一つが1773年に起きたボストン茶会事件である。以後、植民地とイギリス政府の関係は急速に悪化し、1775年にはアメリカ独立戦争が始まった。

独立戦争はヨーロッパにも飛び火する。1778年、フランスが植民地側と同盟して参戦すると、1779年にはスペインも参戦する一方、ロシアをはじめとするヨーロッパ諸国は1780年に(④)を結成し、イギリスを外交的に孤立させた。1783年のパリ条約でイギリスはアメリカの独立を承認せざるをえなくなるが、独立を支援したフランスの財政もひっ迫し、それが財政改革を審議するための全国三部会の開催、さらにはフランス革命の開始につながったのである。また、ヨーロッパから植民地軍に加わった義勇兵のなかには、(⑥)のように、帰国後、祖国の独立運動に尽力する人物が出た事実も見逃せない。

独立したばかりのアメリカ合衆国は、フランス革命勃発後のヨーロッパ情勢から距離をとろうとするが、無縁ではいられなかった。戦費調達の必要に迫られたナポレオンから1803年に(⑧)を購入したのはその一例にすぎない。一方、ナポレオンが1806年にベルリンで発した(⑨)に関連し、イギリスがアメリ

カ合衆国の通商を妨害すると、両国は1812年、戦争に突入するにおよんだ。

1808年にナポレオンがスペインに侵攻し、自らの兄ジョゼフを国王の座につ^⑩けたことにより、ヨーロッパ情勢はアメリカ以外の南北アメリカ大陸にも影響をおよぼすことになる。正統な国王を失った各植民地では、スペイン本国への忠誠を誓う王党派と独立を模索する独立派の対立が独立戦争へと発展していく。イダルゴがメキシコで開始した独立戦争は彼の死後、1821年のメキシコ独立につながり、南アメリカで(⑪)、サン・マルティンらに率いられた独立派がベネズエラ、アルゼンチン、チリ、コロンビア、ペルーなどを次々と独立させたのである。

ナポレオン失脚後、ヨーロッパでは(⑫)の原則の下、ウィーン会議が開催され、フランス革命前の体制の復活が目指された。これは、革命の影響を受けて独立を達成したアメリカ大陸諸国にとり、旧宗主国による再征服を正当化しかねない、危険な動きであった。1823年、第五代アメリカ合衆国大統領モンローが打ち出した孤立主義は、この再征服の動きを阻止することを狙っていたといえよう。ところが、ラテンアメリカ諸国の独立を支持していたはずのアメリカ合衆国は、先住民を排除しながら領土を西方に拡大するうちに、ラテンアメリカ諸国に対する外交姿勢を変えていく。メキシコの一部であったテキサスを1845年に併合し、それに反発したメキシコとの戦争で勝利をおさめると、アメリカ合衆国は1848年、メキシコから(⑭)を獲得するにいたる。アメリカ合衆国は、ラテンアメリカ諸国を守る立場を捨て、それらの国々を侵略する存在へと変容したのである。

こうして大陸国家となったアメリカ合衆国は、南北戦争による一時的な停滞を脱すると、一方でヨーロッパからの移民やアジア系移民を受け入れながら重工業化を進めつつ、他方でラテンアメリカだけでなくアジアへの進出を図ることで、帝国への道を歩みだす。これは、ヨーロッパ諸国との衝突を招くこととなった。^⑮

問1 下線部①の戦争は、当時のイギリス王の名前にちなんで命名されている。
この王の名を記しなさい。

問2 (②)に入る適切な地名を記しなさい。

問 3 下線部③に対処すべくイギリス政府が1774年にとった措置の名称を記しなさい。

問 4 (④)に入る適切な用語を記しなさい。

問 5 下線部⑤は開会直後から議決方法をめぐり空転する。第3身分が反対した議決方法の名称を記しなさい。

問 6 下線部⑥の祖国とはポーランドを指す。(⑥)に入る適切な人名を記しなさい。

問 7 下線部⑦を引き起こした原因の一つは、カリブ海の植民地を失ったことにある。1801年にその植民地をフランスからの事実上の独立に導いた人物の名前を記しなさい。

問 8 (⑧)に入る適切な地名を記しなさい。

問 9 (⑨)に入る適切な用語を記しなさい。

問10 下線部⑩の出来事に対し、マドリード市民は激しく抵抗する。彼らがフランス軍に銃殺される様子を描いた、当時のスペインを代表する画家の名前を記しなさい。

問11 (⑪)はベネズエラを独立に導いた指導者である。その名前を記しなさい。

問12 (⑫)に入る適切な用語を記しなさい。

問13 下線部⑬のために1830年に制定された法律の名前を記しなさい。

問14 (⑭)に入る適切な用語を記しなさい。

問15 下線部⑮の実例は1898年に起きたアメリカ・スペイン戦争である。これに勝利したアメリカ合衆国はスペインからいくつかの植民地を獲得した。そのうちのアジアにあった植民地の名前を記しなさい。